



令和2年5月29日

報道機関 各位

舟橋村における人口減少を克服するパークマネジメントの取組が 2019年度日本造園学会賞を受賞

富山大学、舟橋村、造園業界が連携し進める「舟橋における人口減少を克服するパークマネジメント」の取組みが、令和2年5月23日（土）にWEB開催された日本造園学会の総会にて、2019年度日本造園学会賞（事業・マネジメント部門）を受賞しました。選定理由は別紙を参照ください。

この取組みは、舟橋村が掲げる地域再生（子育て人口増加環境の拡充、ローカル企業の第二創業支援）の一環として行ったもので、平成30年度には都市公園等コンクールにて国土交通大臣賞を受賞しました。また、まち・ひと・しごと創生本部第3回「スポーツ・健康まちづくりの検討に関する関係省庁会合」ゲストスピーカーに招聘されるなど、この取組を通して、富山大学は地域活性化の中核拠点としての機能を評価されております。

これまでは「地方創生」「大学運営」の両面から評価頂きましたが、この度の受賞は、従来の方法を打破する先導性を学術面からも評価頂けました。

富山大学は、今後とも、地域活性化の中核拠点（核）となる大学づくりに邁進して参ります。

つきましては取材・報道方よろしくお願いたします。

【本件に関する問い合わせ先】

富山大学 地域連携推進機構 地域連携戦略室（金岡）	TEL 076-445-6955
富山大学研究振興部社会貢献課	TEL 076-445-6519
舟橋村 生活環境課長・吉田 / 総務課・中井	TEL 076-464-1121
富山県緑化造園土木協会 専務理事・事務局長 村上	TEL 076-423-1023



別紙

〈日本造園学会賞・選定理由〉

当該プロジェクトは、舟橋村が掲げる地域再生（子育て人口増加環境の拡充、ローカル企業の第二創業支援）の一環として行ったものです。産官学連携のプラットフォームを設置し、「この公園があるから舟橋村に住みたい」という明確なゴールを設定のうえ、行政、大学、民間企業の役割分担を明確にしつつ共同して事業を推進しています。

地元造園業者の新たな仕事づくりも目標の一つであり、不足する企画力・資金力等を行政と大学の連携により補う仕組みを構築しています。従前の方法に囚われず多様な手段で企画・実践・具体化まで進めており、村外からの利用者の増加、子育て環境に関する情報収集者の増加など、一定の成果をあげています。

この事業は人口減少という地方都市に共通の課題に対する一つの解決方法を示すものであり、全国の地方自治体・民間企業等からの高い関心を集めているなど全国に先駆けた先導的プロジェクトであることから、2019年度日本造園学会賞（事業・マネジメント部門）を授与するに値すると評価されました。